

「弱さをシェア」「絶望のシェア」——う～ん 強烈でした！！

認定 NPO 法人病気の子ども支援ネット遊びのボランティア
坂上 和子

6月16日は久しぶりの教室、熱心な空気がみなぎっていました。
印象に残る授業でした。

「自立の反対語は、ななに？」と
出だしから教室の皆さんの気持ちをぐいっと引き付けておられましたね。
84枚もの資料をご準備、写真も情報も満載で、ありがとうございます。
あらためて、青い芝の会の運動から月日が流れて、障害者運動は大きく変わったと思いました。

身体障碍の場合、訴える手段（言葉）をもっていますが、自閉スペクトラム症のように見えにくい障害、ここに焦点を絞ってお話された内容、たいへん興味深かったです。

なぜなら、本人が訴えていないのに、あるいは自覚できないのに、（しかしコミュニケーション障害はあるわけで）、自閉スペクトラム症に対する当事者研究すごく面白い研究ですね、

視覚、聴覚の結果から、白黒にみえるのでは、カラフルな光が散らばってみえる、あるいは音の聞こえの違いなどがあるようで、たしかに自閉症のこどもさんなど、風船の破裂音などを嫌うや、木漏れ日の光に興味をしめすなど、通常感覚と違うものがあることを感じていましたが、実際に映像をみて、こういう研究に着手した事体が興味深く、素晴らしいと思います。

でも自閉症の画家、精密鉄道絵画の福島尚さんの絵などをみると、色彩に対する見え方は普通かなと思ったり。

東田直樹君のように文字を媒体に発信することが出来る人もいらっしゃるので、自閉スペクトラム症研究はもっと進んでいくでしょうね。

「弱さを情報開示すると、強くなる」「弱さをシェア」「絶望のシェア」など、
う～ん 強烈でした！！

雨の中に足を運んだ甲斐あり！

いつも人生のためになる場をありがとうございます。